

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
3 - 1 - 2	快適な生活空間に必要な施設環境を整える	
重点施策ID	重点施策名	
- - -		

2. 事業名等				
事業名	都市公園整備	事業区分	②	①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名		実施形態	①	①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市		①	①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	1 ①自治事務 ②法定受託事務			④その他 ()
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規	都市公園法、豊後大野市都市公園条例、豊後大野市都市公園条例施行規則	
各種の計画への反映（=根拠計画）			事業ID	21011

3. 事業の内容等			
事業の背景 昭和33年から都市公園を市内（三重町内）に設置し、整備、維持管理を行ってきたが、施設の老朽化やバリアフリー新法に伴う公園安全基準の見直し等に対応できていないものもあり、その対策が喫緊の課題となっている。	補助事業	名称	
		補助率	国 1/ 県 1/ その他 1/
		起債の種類	① ② ③
事業の目的及び対象 【目的】 各公園の施設は老朽化による傷みが激しく、近年の公園の安全への関心・意識の高まりも受け、誰もが安全で快適に利用することができる環境整備を目指す。 【対象】 市民	事業概要 都市公園改修 ・ 大原児童公園トイレ建替工事（H19） ・ 都市公園の改修（危険遊具の改修） ・ 都市公園の適切な維持管理 ・ バリアフリー改善 前年度の評価 評価結果に基づき見直した内容 E 維持		

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	4,702	4,909	20,723	5,269	4,800	5,000	5,000
	計	4,702	4,909	20,723	5,269	4,800	5,000	5,000
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	4,563	4,732	19,598				
	計	4,563	4,732	19,598				

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
【実績】 危険遊具の改修 都市公園の適切な維持管理	【実績】 危険遊具の改修 都市公園の適切な維持管理	【実績】 危険遊具の改修 都市公園の適切な維持管理 大原児童公園トイレ建替工事	公園の清掃管理体制

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値										
活動指標	公園の整備件数									
効率指標	前年度決算額 > 当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。									
成果指標	整備率									
	単位 %									
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考			
種別	整備率	整備率	整備率	整備率	整備率	整備率	整備率			
目標値			100	100	100	100				
実績値	100	100	100							
達成率			100.0%							
備考										

総合計画／実施計画書 兼 事業事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	建設課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	余暇時間増大により、住民が公園を利用する機会が増えていることから、利用者から余暇空間の場・防災空間・自然と共生した公園の整備要求が強まっているため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを供給できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	公園の安全確保は管理者である市の責務であるため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	都市公園の清掃美化に係る維持管理については、協働のまちづくりの観点から、管理形態のあり方を検討する必要があるため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	都市公園の整備は、予算の範囲内において、利用頻度の高い公園を優先に進めているため。				
事業の 予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	予算の範囲内において計画的に施設整備を行っており、ほぼ現年と同額の予算が必要である。ただし、都市公園の施設は老朽化しているため、将来的には、施設維持管理に係る経費を増額することが必要である。				
人 体 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務で事業を行っており、現状の人員以上の削減が困難なため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	予算の範囲内において計画的に施設整備を行っているため。				
その他、特記事項					
市内公園の維持管理には差異があるため、市内公園の統一した指標が必要である。					
部 長	課 長	班 長	担 当 者	内線 2333 E-mail @bungo-ohno.jp	